

生徒会総会（4月22日（金）） 校長挨拶

昨夜の雨が上がり、今日は青空。

生徒のみなさん、風を感じませんか。

私は感じます、さわやかな風を。

さはこの丘（本校舎）とあかさかの丘（遠野校舎）から、「いわき湯本高校」という新しい風が吹いております。

4月2日（土）Jヴィレッジで、Fリーグが開幕し、F1に昇格したいわき湯本高校サッカー一部が出場しました。

本校舎・遠野校舎サッカー部の生徒の頑張り、新たな歴史の始まりを、この目でしっかりと見ながら、私は胸が熱くなりました。

開校式では、本校舎・遠野校舎の生徒会長が、校章、校歌を紹介し、吹奏楽部の演奏録音による校歌が披露されました。

初めての入学式では、新入生代表生徒から、誓いの言葉が力強く述べられました。

この後、放送による新入生歓迎会、動画視聴による部紹介、部活動編成、委員会編成が行われました。

放課後においては、さまざまな部や委員会などの活動が展開され、土日においては、いわき市の内外で、各種大会や練習試合が行われております。

昨日4月21日（木）マルトスーパーセンター湯本店のオープンに合わせ、家庭クラブが考えた「Iwaki たっぷりハヤシライス」がコラボレーションメニューとして販売され、家庭クラブの生徒による見事なプレゼンが披露されました。

「いわき湯本高校」の生徒が躍動しております。

生徒会組織は、生徒による組織であり、学校における中心的な組織の一つであ

り、生徒会本部役員はもとより、さまざまな部や委員会から成り立っております。

生徒会本部、部や委員会などに所属する生徒一人一人の頑張りが生徒会活動の根幹であります。

生徒一人一人の奮闘努力がいわき湯本高校という新しい学校づくり、いわき湯本高校という新しい風を吹かせることにつながるのです。

本日の生徒会総会など、さまざまな生徒会行事があります。

今年度は9月に公開文化祭があります。

昨年度は中止でした。

苦渋の決断だったでしょう。

今年度、全面実施か、全面中止かという二者択一ではなく、感染症対策を踏まえた実施可能な文化祭という第三の選択肢を模索したい。

学校一丸となって、実施の方向で調整・検討していき、コロナ禍における「いわき湯本ならでは」の文化祭をつくっていききたい。

たかが文化祭。されど文化祭。

コロナ禍において青春の行事を実現することは、青春諸君が取り組むべき課題であり、青春の担い手である生徒一人一人の地道な感染症対策の取り組み、アイデア、工夫、挑戦、創造が必要です。

私には夢があります。

いわき湯本高校という新しい風が吹かせたい、という夢です。

今、私が感じている、「いわき湯本高校」という新しい風を強く、どこまでも遠く、さわやかに吹かせたい。

そのためにも、本日の生徒会総会を踏まえ、「明日への扉を開き、新たな時代(とき)」を、さあ、ともに行こう。輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。